

# 名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

藤田守彦 会長 年度テーマ  
=先人に感謝、今日から、そして明日へ=  
ホップ、ステップ、ジャンプ!!

例会場 名古屋クレストンホテル

TEL 052-264-8000

例会日時 木曜日 12:30

プログラム・クラブ会報広報委員長 岩田 宏



創立 1995年3月9日  
承認 1995年3月28日  
会長 藤田 守彦  
幹事 田島 陽介

事務局 名古屋市中区栄3-29-1  
名古屋クレストンホテル 1007号

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

Mail rc.nagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp

HP <http://www.nagoya-marunouchi-rc.org/>

## 第846回 例会No. 30 平成 25年2月28日(木) 晴

ロータリー研修夜間例会 18:30~  
中部名古屋みらい RC 合同例会

■ ローターソング	「それこそロータリー」
■ 出席報告	会員47名中25名出席
■ 出席率	56.82% 出席計算人数44名
■ 修正出席率	2月14日 95.45%
■ ゲスト	講師 中村靖治 様
■ 合同例会	中部名古屋みらい RC 8名
■ ビジター (2/28 受付)	四日市南 RC 青木邦夫さん 以下14名

### 会長挨拶

藤田守彦

皆さん こんにちは。まずもって先週のインターシティミーティング出席有難うございました。次年度ホストクラブとして大いに勉強になりました。

さて、本日は第2770地区埼玉・南東からパストガバナーの中村靖治様を御迎えて、「これからのロータリー」について御教を頂きます。中村様との出会いは会長エレクト時代にさかのぼり、地区大会での事前研修、また会長エレクト研修であります。その時の御話の中で、ロータリーは「寛容」「謙虚」「忍耐」が大切であると言われました。この言葉の重さに会長エレクトとして身がしる思いを感じ取りました。今回、中村様に研修を御願いしたのは、次年度 川原ガバナー補佐を輩出するにあたり、私含め会員の皆様にロータリーの良さの認識と会員の結束を強める必要があると思ったからです。けっして、押し付けるものではなく、御話しを聞く事により肩の力が抜けて良き方向に会員の皆様が向かって行けるものと確信しております。御話しを楽しみにして下さい。

さて、もう一つ今日は「中部名古屋みらいロータリークラブ」との合同例会です。中部みらいクラブは第2630地区岐阜、三重と当2760地区の中でロータリー財団の奨学生、GSE、VTT派遣者、米山奨学生の修了者で構成されております。

そして今回の合同例会のきっかけは「東日本大震災 被災高校生支援活動、いわゆる「ワンコイン支援」の協同支援クラブの関係からです。御互いに会員数も少なく協同した方が良いとの現大橋ガバナー補佐から御指導があったからです。今回の合同例会実現は、その事も踏まえて田島幹事、池谷幹事が進めてくれました。

是非とも御食事時間にでも御話しして頂き「好意と友情」を深めて頂ければ合同例会の大きな目的も達成できると確信しております。

### ニコBOX

●本日は「ロータリー研修合同夜間例会」です。講師の中村靖治様、ようこそお越し下さいました。会員一同心より歓迎申し上げます。今日のお話を楽しみにしていました。

また、中部名古屋みらいロータリークラブの皆さん、初めての合同例会です。どうぞ宜しくお願いします。

藤田会長、若原、後藤、西川、水野、成田、岩田、矢野、長谷川、河原、柴田孝一、亀井、堀江、磯部、安江、大岩、吉田、和田（敬称略）

本日合計 37,000円

### 報告

#### 出席報告



#### ニコBOX 報告



#### 幹事報告



ロータリー研修 講演  
「これからのロータリーと原点について」  
＝ 田中作治 RI 会長からのメッセージ ＝

中村 靖治



講演者プロフィール

- 1979 吉川ロータリークラブ入会
- 1991～92 吉川RC 21代会長
- 2007～08 第2770地区ガバナー
- 2008～09 RI日本支部委員
- 2009～10 国際ロータリー・研修リーダー・  
RI日本支部委員
- 2010～11 国際ロータリー・研修リーダー・  
RI日本支部委員  
第2770地区研修リーダー  
第2840地区RI会長代理(群馬)
- 2011～12 GETS研修チーム・リーダー・  
RI日本支部委員  
第2660地区RI会長代理(大阪)  
第2730地区PETS講師  
第2530地区・  
地区大会指導者育成セミナー講師  
第2740地区・  
地区大会指導者育成セミナー講師
- 2012～ 第2610地区 RI 会長代理(石川・富山)
- 2013・リスボン国際大会推進委員会委員  
第1ゾーン・ロータリー財団地域コーディネーター補佐

.....  
日本のロータリーの歴史から、RI 会長のメッセージまで大変わかりやすく楽しいお話を聞かせていただきました。講演の資料をいただいております。(パワーポイントファイル・ムービーファイル)パソコンでしかご覧いただけませんがご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。



RI 会長メッセージ 3月  
(ロータリージャパンウェブより転載)  
「青少年交換が平和を築く」

朋友ロータリアンの皆さん、私は若いころ、世界中を旅したいと思っていました。しかし当時は、旅を夢見ることしかできず、海外をはるか遠くの世界のように感じていました。とはいえ、日本では誰もがそうするように、私も学校で英語を勉強しました。最初の教科書の1ページ目に「This is a pen」と書かれていたことを今でも覚えています。もう50年も前のことです。それから、世界は大きく変わり、私はロータリーの会長として、かつて夢見た以上に世界中を旅しています。

世界中の人と交流する喜びを感じる

初めての場所を訪れると、初めての言葉、人々、慣習に出会います。私は、行った先々でお目にかかる方々から学ぼうと全力で努めています。お目にかかる人から学べることはあるはずだと信じているからです。このように考えると、ロータリーの青少年交換プログラムの意味がより深く理解できると感じます。そして、青少年交換を通して、ロータリーがいかに素晴らしい贈り物をしているかがわかります。青少年交換は、数々の心を開かせ、信頼や心の交流を築きます。また、国や背景が異なる人々を一つにすることができます。

青少年交換に参加した若い人たちは皆、多くのことを学びます。自分とは全く違うと思っていた人たちが、実は全く同じであることを学び、世界中の人々と交流する喜びを感じるようになるでしょう。彼らは世界についての理解をより深め、別人のようになって帰国します。

彼らは、もはや一つの言語、一つの文化を知っているだけではありません。彼らには、訪れた国やそこで出会った他の国からの参加者とのつながりを持っているのです。期間が終わるころには、ホストファミリーの一員となっていることでしょう。こうして青少年交換学生たちは、世界で最も大きくて国際的な家族である、ロータリー家族の一員となります。

青少年交換はロータリーの使命を担う

ロータリーの青少年交換プログラムは、40年以上にわたって充実した活動を継続し、今日、第五奉仕部門である「新世代奉仕」の一部となっています。この奉仕部門には、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)などのプログラムのほか、30歳までの若者を対象としたクラブや地区の活動が含まれます。

若者に力を注ぐことで、ロータリーの未来と、より平和な世界を築くことができます。青少年を支援することで、新たな世代にロータリーを引き継ぐことができます。また、国境や文化の壁を超えた理解の輪が広がります。私たちは支援の手を差し伸べることの大切さを教え、ロータリーの中核となる価値観を伝承することができます。このようにして、私たちは平和の構築を支援しています。

青少年交換は、一つひとつの交換を通して国と国との間の関係を育み、平和な世界を築くというロータリーの世界的使命の本質的な要素を担っています。